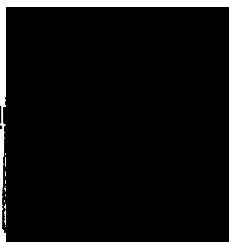


九州厚生局長 殿

大分大学医学部附属病院長  
古 林 秀 貞



特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	57 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	199人	217人	405.5人	看護補助者	16人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	11人	17.0人	理学療法士	7人	臨床検査技師	35人
薬 剤 師	28人	0人	0.人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	1人	0人	0.人	視能訓練士	2人	その他	0人
助 産 師	21人	0人	0.人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	485人	62人	529.8人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0.人	栄 養 士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	2人	0人	0.人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	136人
管理栄養士	5人	1人	6.人	診療放射線技師	28人	その他の職員	51人

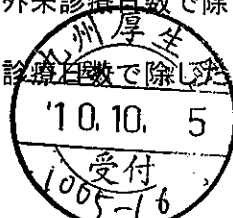
- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	506.5人	8.4人	514.9人
1日当たり平均外来患者数	970.4人	43.1人	1,013.5人
1日当たり平均調剤数	1639.3剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。













(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡的胃内バルーン留置術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 高度の肥満症患者を対象とし、シリコン製の胃内バルーンを内視鏡的に挿入し減量を行う。			
医療技術名	先天性代謝異常疾患に対する同種臍帯血移植療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 Hurler症候群、Sanfilippo症候群をはじめとするリソソーム酵素の異常を伴う代謝異常症、また、ピルビン酸キナーゼ欠損症などの赤血球代謝酵素異常症に対し、根治的治療法として同種臍帯血移植術を実施、全例生存中である。			
医療技術名	骨髄幹細胞移植による難治性潰瘍の治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 糖尿病性足潰瘍に対して、骨髄幹細胞を採取し、それを足一下腿に注入し、治療を行う。			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パージェット癌などの皮膚腫瘍におけるセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 有棘細胞癌、乳房外パージェット癌などの皮膚腫瘍において、センチネルリンパ節生検を実施し、リンパ節廓清の適応を決定する。			
医療技術名	骨変形矯正や開放粉碎骨折に対するTaylor Spatial Frame(創外固定)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 他の創外固定器と違い、装着後より3次元的に変形矯正ができる。			
医療技術名	脚延長術に対する低出力パルス超音波の併用	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 骨折治療に用いられる低出力パルス超音波を脚延長術に応用し骨形成を促進させる。			
医療技術名		取扱患者数	大
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。





## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	59人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	44人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・全身性エリテマトーデス	183人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	56人
・再生不良性貧血	15人	・混合性結合組織病	29人
・サルコイドーシス	183人	・原発性免疫不全症候群	0人
・筋萎縮性側索硬化症	18人	・特発性間質性肺炎	57人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	109人	・網膜色素変性症	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	38人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	20人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	79人	・神経線維腫症	9人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	9人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	27人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	33人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	56人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	36人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	28人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	23人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	19人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	33人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下肝部分切除術	・
・腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	平均して毎月1回
部 検 の 状 況	部検症例数          17 例          /          部検率          8.33%



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
低酸素状態における脳腫瘍細胞と血管内皮前駆細胞間のクロストーク解析と分子標的治療	阿部 竜也	脳神経外科	900	③委 独立行政法人 日本学術振興会
上気道粘膜における免疫監視、免疫制御誘導の解明	鈴木 正志	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	1,100	③委 独立行政法人 日本学術振興会
高齢ラットの虚血再灌流性急性腎障害における知覚神経活性化の役割	野口 隆之	麻酔科	1,100	③委 独立行政法人 日本学術振興会
更年期女性の微小血管性狭心症の病態解明と漢方治療の確立	中川 幹子	内科	1,300	③委 独立行政法人 日本学術振興会
漢方薬の生理活性ペプチドを指標とする薬効解析	武山 正治	薬剤部	1,300	③委 独立行政法人 日本学術振興会
緑膿菌感染症の制御に向けた新戦略ー線毛を標的としたワクチン療法の開発	門田 淳一	内科	800	③委 独立行政法人 日本学術振興会
GNE遺伝子異常に伴う遠位型ミオパチーの治療法の開発	熊本 俊秀	内科	900	③委 独立行政法人 日本学術振興会
Th2プロフィールは皮膚バリア機能を改変するーアトピー性皮膚炎憎悪の新仮説ー	波多野 豊	皮膚科	700	③委 独立行政法人 日本学術振興会
不安障害におけるobestatinの役割	穂吉 條太郎	精神科	1,100	③委 独立行政法人 日本学術振興会
胃静脈痛に対するコアキシャルバルーンカテーテルシステムを使用した治療法の確立	清末 一路	放射線科	500	③委 独立行政法人 日本学術振興会
フルクトース1, 6ー2リン酸の脳保護作用の検討(31P-NMRを用いて)	北野 敬明	麻酔科	1,000	③委 独立行政法人 日本学術振興会
脳低温療法施行時の患者重症度に関する研究ー電子スピン共鳴法を用いた検討	新宮 千尋	麻酔科	1,800	③委 独立行政法人 日本学術振興会
HMGB1を標的とした血液浄化による新たな敗血症治療法の開発	日高 正剛	麻酔科	1,100	③委 独立行政法人 日本学術振興会
サイトカインのシグナル制御を基盤とした外尿道括約筋再生療法の開発	三股 浩光	腎臓外科・泌尿器科	1,000	③委 独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜症の病態の解明と新しい視点に基づく治療法の確立	奈須 家栄	産科婦人科	700	③委 独立行政法人 日本学術振興会
血小板活性化因子による絨毛及び脱落膜の血管新生の制御	檜原 久司	産科婦人科	600	③委 独立行政法人 日本学術振興会
樹状細胞を標的とした上気道粘膜ワクチン開発ー上気道炎と頭頸部癌への応用ー	児玉 悟	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	1,100	③委 独立行政法人 日本学術振興会
TGF-βシグナル関連因子阻害による増殖性硝子体網膜症の治療戦略	木許 賢一	眼科	700	③委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌に対する浸潤・転移抑制療法確立のための基礎研究	河野 憲司	歯科口腔外科	1,200	③委 独立行政法人 日本学術振興会
免疫系における新規RNAキナーゼの生理機能	花田 俊勝	腎臓外科・泌尿器科	2,300	③委 独立行政法人 日本学術振興会
オピオイド鎮痛薬個別化治療への遺伝子メカニズムの解明と応用	大橋 京一	臨床薬理センター	3,400	③委 独立行政法人 日本学術振興会
母乳ラクトリオシドとシリアル酸含有多糖類の生理作用:神経細胞分化への影響	泉 達郎	小児科	1,200	③委 独立行政法人 日本学術振興会
双極スペクトラム概念の検証・再構築とうつ病への臨床応用	寺尾 岳	精神科	1,600	③委 独立行政法人 日本学術振興会
高分解MRIによる膝周囲リンパ路の解析	森 宣	放射線科	1,600	③委 独立行政法人 日本学術振興会
蛍光プローブ導入制限増殖型レオウイルスによる腹膜転移特異的画像診断の開発	衛藤 剛	外科	1,700	③委 独立行政法人 日本学術振興会

食道扁平上皮癌の新規癌抑制遺伝子としてのEMP3の同定と発現制御機構の解明	野口 剛	外科	1,900	補委	独立行政法人 日本学術振興会
左肺癌における右上縦隔郭滑の予後に及ぼす影響一特に微小リンパ節転移について一	川原 克信	外科	800	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非侵襲的脳機能再建の系統的戦略	藤木 稔	脳神経外科	2,200	補委	独立行政法人 日本学術振興会
全身性炎症反応時におけるオートファジーの役割の検討とその制御法の開発について	萩原 聡	麻酔科	1,800	補委	独立行政法人 日本学術振興会
2型糖尿病ラットにおける腎虚血再灌流性急性腎障害での知覚神経活性化の役割	工藤 亨祐	麻酔科	1,300	補委	独立行政法人 日本学術振興会
PLKを標的とした婦人科癌の治療とマイクロアレイによる抗癌作用機序の解析	高井 教行	産科婦人科	2,200	補委	独立行政法人 日本学術振興会
頭頸部癌におけるTLRの発現と生物学的意義の解明	能美 希	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	1,300	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ラット外尿道括約筋損傷モデルにおける筋再生療法の開発	平田 裕二	腎臓外科・泌尿器科	800	補委	独立行政法人 日本学術振興会
人工呼吸下での気道内mucinの発現に対する異常体温の影響ー高体温vs低体温ー	長谷川 輝	麻酔科	500	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト大腸スピロヘータ症 免疫組織学および血清学的診断法の確立	棚橋 仁	内科	500	補委	独立行政法人 日本学術振興会
なぜエピブラキン欠損時に表皮細胞遊走能が亢進するのか？	後藤 瑞生	皮膚科	800	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経膠芽腫の浸潤能獲得における増殖因子を介したArf6活性機構の解析	森重 真毅	脳神経外科	1,300	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心筋虚血再灌流障害における水素ガスの抗酸化効果の検討	古賀 寛教	麻酔科	700	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト外尿道括約筋におけるマイオスタチンの関与とその抑制による筋再生についての研究	住野 泰弘	腎臓外科・泌尿器科	800	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜の再構築の調節に関する研究	松本 治伸	産科婦人科	1,600	補委	独立行政法人 日本学術振興会
上気道におけるCCL20/CCR6を介する粘膜免疫誘導機構の解析	安部 伸幸	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	1,200	補委	独立行政法人 日本学術振興会
同種間複合組織移植における組織虚血と拒絶反応の関係	清水 史明	皮膚科	500	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ピロリ菌毒性因子の分子疫学的研究 ベトナムに特異的な遺伝型の同定と解析	黒田 明子	内科	1,700	補委	独立行政法人 日本学術振興会
うつ病における唾液アミラーゼとDEX/CRH試験の相互作用	津留 壽船	精神科	1,700	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ラット脊椎固定モデルにおけるカーボンナノファイバーの骨誘導能の検討	宮崎 正志	整形外科	2,200	補委	独立行政法人 日本学術振興会
積極的脳循環維持による心臓手術後せん妄および認知機能低下予防効果の解明	後藤 孝治	麻酔科	1,200	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腎癌増殖・骨転移におけるβ2ミクログロブリン刺激伝導系の影響に関する研究	野村 威雄	腎臓外科・泌尿器科	1,900	補委	独立行政法人 日本学術振興会
デルマトポンチンの新規創傷治癒促進ペプチドの分子機構解明	加藤 愛子	形成外科	2,100	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Mcatarralls由来中耳炎モデルでのTLR-5の誘導と局所免疫応答	川野 利明	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	560	補委	独立行政法人 日本学術振興会
中耳慢性炎症疾患とToll様受容体による調節機構の解析	立山 香織	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科	470	補委	独立行政法人 日本学術振興会
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究	北野 正剛	外科	49,368	補委	厚生労働省
グローバル早期臨床試験推進のための大学病院ネットワーク構築の基盤整備事業	大橋 京一	臨床薬理センター	91,084	補委	厚生労働省
がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究	白尾 國昭	腫瘍内科	17,500	補委	厚生労働省

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Experimental biology and medicine (Maywood, N.J.) (21年5月発行)	Hyperthermia-induced cardioprotection is potentiated by ischemic postconditioning in rats.	高橋尚彦	内科第一
Hypertension research : official Journal of the Japanese Society of Hypertension (21年4月発行)	Diabetic retinopathy is associated with insulin resistance and cardiovascular autonomic dysfunction in type 2 diabetic patients.	高橋尚彦	内科第一
Metabolism: clinical and experimental (21年5月発行)	White matter lesions are associated with the results of 123I-metaiodobenzylguanidine myocardial scintigraphy in type 2 diabetes mellitus patients.	正木孝幸	内科第一
Journal of neurochemistry (21年9月発行)	Hypothalamic neuronal histamine signaling in the estrogen deficiency-induced obesity.	正木孝幸	内科第一
NeuroImage (22年1月発行)	Abdominal visceral fat accumulation is associated with hippocampus volume in non-dementia patients with type 2 diabetes mellitus.	正木孝幸	内科第一
Diabetes Research and Clinical Practice (22年2月発行)	Association between plasma high-sensitivity C-reactive protein and insulin resistance and white matter lesions in Japanese type 2 diabetic patients.	正木孝幸	内科第一
Nature (21年11月発行)	Central control of fever and female body temperature by RANKL/RANK.	吉松博信	内科第一
Metabolism: clinical and experimental (22年3月発行)	Diabetic retinopathy is associated with visceral fat accumulation in Japanese type 2 diabetes mellitus patients.	正木孝幸	内科第一
Current molecular pharmacology (21年11月発行)	Molecular mechanisms of neuronal histamine and its receptors in obesity.	正木孝幸	内科第一
The Journal of nutrition (22年3月発行)	Isoleucine prevents the accumulation of tissue triglycerides and upregulates the expression of PPARalpha and uncoupling protein in diet-induced obese mice.	正木孝幸	内科第一
The American journal of cardiology (21年9月発行)	Efficacy of single-bolus administration of sodium bicarbonate to prevent contrast-induced nephropathy in patients with mild renal insufficiency undergoing an elective coronary procedure.	田村 彰	内科第二
Journal of cardiology (21年8月発行)	Plasma homocysteine level is unrelated to long-term cardiovascular events in patients with previous percutaneous coronary intervention.	神徳宗徳	内科第二
Journal of electrocardiology (21年9-10月発行)	Electrocardiographic differentiation between occlusion of the first diagonal branch and occlusion of the left anterior descending coronary artery.	神徳宗徳	内科第二
Bone marrow transplantation (22年1月発行)	Correlations of HHV-6 viral load and plasma IL-6 concentration with HHV-6 encephalitis in allogeneic stem cell transplant recipients.	緒方正男	内科第二
Leukemia & Lymphoma (21年4月発行)	Development of hyperammonemic encephalopathy in patients with multiple myeloma may be associated with the appearance of peripheral blood myeloma cells	池脇淳二	内科第二
Blood purification (21年6月発行)	Standardization of water purification in the central dialysis fluid delivery system: validation and parametric method.	友 雅司	内科第二
Respirology (22年1月発行)	Multiple tiny granulomatous lesions with eosinophils in a patient with smoldering-type adult T-cell leukaemia: the possibility of a new type of bronchiolobulopathy.	石井 寛	内科第二
Internal medicine (21年10月発行)	Desquamative interstitial pneumonia (DIP) in a patient with rheumatoid arthritis: is DIP associated with autoimmune disorders?	石井 寛	内科第二
Internal medicine (21年7月発行)	Tracheobronchopathia osteochondroplastica associated with sinobronchial syndrome.	岡 宏亮	内科第二
Internal medicine (21年9月発行)	Tracheobronchial amyloidosis in a patient with sarcoidosis.	岡 宏亮	内科第二
Internal medicine (21年8月発行)	A Japanese family with multiple lung cysts and recurrent pneumothorax: a possibility of Bird-Hogg-Dube syndrome.	石井 寛	内科第二
Internal medicine (21年11月発行)	Idiopathic enlargement of the right atrium accompanied by persistent superior vena cava: a rare case.	田村 彰	内科第二
Internal medicine (21年7月発行)	Efficacy of azithromycin in the treatment of community-acquired pneumonia, including patients with macrolide-resistant Streptococcus pneumoniae infection.	時松一成	内科第二
日本化学療法学会雑誌 (21年4月発行)	抗菌薬ブレイクポイント委員会:呼吸器感染症,敗血症および尿路感染症におけるブレイクポイント:新規抗菌薬の追加(21年)	門田淳一	内科第二
気管支学 (22年2月発行)	特発性肺胞蛋白症8例の臨床的検討-肺区域洗浄の有用性	石井 寛	内科第二
日本呼吸器学会雑誌 (21年8月発行)	Schizophyllum commune(スエヒロダケ)によるアレルギー性気管支肺真菌症の1例~本邦報告例の臨床的検討~	白井 亮	内科第二
日本呼吸器学会雑誌 (21年4月発行)	側頭骨転移による顔面神経麻痺を初発症状として発見された肺腺癌の1例	石井 寛	内科第二
日本呼吸器学会雑誌 (21年7月発行)	精巣と精巣上皮病変を有したサルコイドーシスの1例~本邦報告例の臨床的検討~	石井 寛	内科第二
臨床血液 (22年2月発行)	再発・治療抵抗性多発性骨髄腫に対するサリドマイド療法の後方視的検討	池邊太一	内科第二
日本輸血細胞治療学会雑誌 (21年12月発行)	特発性好中球減少症より転化した急性骨髄性白血病に対する同種末梢血幹細胞移植後に好中球減少が再燃し、ドナーリンパ球輸注を行った成人例	緒方正男	内科第二
日本透析医学会雑誌 (21年11月発行)	血液浄化療法の生体適合性と腎性貧血	友 雅司	内科第二
Clinical Neurology and Neurosurgery. (21年9月発行)	Evaluation of regional cerebral blood flow in cerebellar variant of multiple system atrophy using FineSRT.	木村成志	内科第三
Journal of the Neurological Science (21年12月発行)	Primary central nervous system lymphoma with cortical laminar hemorrhage.	木村成志	内科第三



Journal of Neuroimaging. (21年8月発行)	Evaluation of the effects of thyrotropin releasing hormone (TRH) therapy on regional cerebral blood flow in the cerebellar variant of multiple system atrophy using 3DSRT.	木村成志	内科第三
Muscle Nerve (21年8月発行)	Role of ubiquitin-proteasome proteolysis in muscle fiber destruction in experimental chloroquine-induced myopathy.	木村成志	内科第三
Journal of the Neurological Science (21年6月発行)	Evaluation of the effect of thyrotropin releasing hormone (TRH) on regional cerebral blood flow in spinocerebellar degeneration using 3DSRT.	木村成志	内科第三
Clinical Neurology and Neurosurgery. (21年4月発行)	Monofocal large inflammatory demyelinating lesion, mimicking brain glioma.	木村成志	内科第三
臨床神経学会雑誌 (21年8月発行)	髄液抗グルタミン酸受容体ε2抗体陽性の非ヘルペス性急性辺縁系脳炎をともなったVogt-小柳-原田病の1例 増田隆章	木村成志	内科第三
神経内科 (21年12月発行)	短期間で再発と緩解を繰り返し、多彩な頭部MRI所見を呈した1例.	木村成志	内科第三
臨床神経学会雑誌 (22年3月発行)	発汗障害によるうつ熱をきたしたパーキンソン病の1例	迫 祐介	内科第三
Lung. (22年1月発行)	Significance of Serum Vascular Endothelial Growth Factor Level in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	安東 優	内科第三
Respiratory medicine. (21年7月発行)	Increased serum ADAM8 concentration in patients with drug-induced eosinophilic pneumonia-ADAM8 expression depends on the allergen route of entry.	松野 治	内科第三
Archives of gerontology and geriatrics (21年9月発行)	Influence of age on symptoms and laboratory findings at presentation in patients with influenza-associated pneumonia.	松野 治	内科第三
Clinical experimental allergy. (21年9月発行)	Concentration of 14,15-leukotriene G4 (eoxin G4) in bronchoalveolar lavage fluid.	小野恵美子	内科第三
Journal of allergy and clinical immunology. (22年2月発行)	CD203c expression on human basophils is associated with asthma exacerbation.	小野恵美子	内科第三
Lung Cancer (21年4月発行)	Low podoplanin expression of tumor cells predicts poor prognosis in pathological stage IB squamous cell carcinoma of the lung. tissue microarray analysis of 136 patients using 24 antibodies.	熊本俊秀	内科第三
The British Journal of Psychiatry (21年5月発行)	Lithium levels in drinking water and risk of suicide.	寺尾 岳	精神科
The German Journal of Psychiatry (21年5月発行)	Negative Symptoms in Schizophrenia Respond to Milnacipran Augmentation Therapy: A Case Report.	帆秋伸彦	精神科
Acta Psychiatrica Scandinavica (21年5月発行)	A young woman with visual hallucinations, delusions of persecution and a history of performing arson with possible three-generation Fahr disease.	穂吉條太郎	精神科
Medical Hypotheses (21年11月発行)	Even very low but sustained lithium intake can prevent suicide in the general population?	寺尾 岳	精神科
Pediatr Neurol (21年9月発行)	Manifestation of neurofibromatosis 1 in a patient with X-linked adrenoleukodystrophy	泉 達郎	小児科
Brain & Development (21年10月発行)	The subkassification of schizencephaly and its clinical characterization	前田知己	小児科
Pediatr Neurol (21年8月発行)	Novel mutation of early, perinatal onset myopathic type VLCAD deficiency.	是松聖悟	小児科
Vaccine (21年8月発行)	A relapse of systemic type juvenile idiopathic arthritis after a rubella vaccination in a patient during a long-term remission period.	是松聖悟	小児科
Pediatrics International (21年8月発行)	Ictal bradycardia in an infant following surgical treatment for himimegalencephaly	関口和人	小児科
Obesity Surgery (21年6月発行)	Initial Japanese experience with intragastric balloon placement.	太田正之	外科第一
Hepato-Gastroenterology (21年7月発行)	Ampullary cancer and preoperative jaundice: possible indication of the minimal surgery.	柴田浩平	外科第一
Endoscopy (21年8月発行)	Submucosal tunneling using endoscopic submucosal dissection for peritoneal access and closure in natural orifice transluminal endoscopic surgery: a porcine survival study.	吉住文孝	外科第一
World Journal of Surgery (21年5月発行)	Lymphatic invasion: an important prognostic factor for stages T1b-T3 gallbladder cancer and an indication for additional radical resection of incidental gallbladder cancer.	柴田浩平	外科第一
Surgical Laparoscopy, Endoscopy, and Percutaneous Techniques(21年10月発行)	A comparative study of the long-term outcomes after laparoscopy-assisted and open left lateral hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	遠藤裕一	外科第一
Pancreas (21年8月発行)	Increased levels of both carbohydrate antigen 19-9 and duke pancreatic monoclonal antigen type 2 reflect postoperative prognosis in patients with pancreatic carcinoma.	柴田浩平	外科第一
Oncology Reports (21年6月発行)	Reovirus inhibits the peritoneal dissemination of pancreatic cancer cells in an immunocompetent animal model.	衛藤 剛	外科第一
Journal of Gastroenterology and Hepatology(21年6月発行)	Increased heat-shock protein 90 expression contributes to impaired adaptive cytoprotection in the gastric mucosa of portal hypertensive rats.	太田正之	外科第一
European Journal of Surgical Oncology (21年11月発行)	Predictors and prognostic significance of operative complications in patients with hepatocellular carcinoma who underwent hepatic resection.	草野 徹	外科第一
Obesity Surgery (21年6月発行)	Additional effect of visceral fat resection on an obese rat model of gastric banding.	遠藤裕一	外科第一
Asian Journal of Endoscopic Surgery (21年12月発行)	Initial experience in laparoscopic sleeve gastrectomy for Japanese morbid obesity.	太田正之	外科第一
The Journal of Surgical Research (21年6月発行)	Effects of bevacizumab, a humanized monoclonal antibody to vascular endothelial growth factor, on peritoneal metastasis of MNK-45P human gastric cancer in mice.	猪股雅史	外科第一
Surgical Endoscopy (21年12月発行)	Increased mRNA expression of epidermal growth factor receptor, human epidermal receptor, and surviving in human gastric cancer after the surgical stress of laparotomy versus carbon dioxide pneumoperitoneum in a murine model.	白石憲男	外科第一

Surgical Endoscopy (22年3月発行)	Activation of nuclear factor kappa B (NFkB) and induction of migration inhibitory factor (MIF) in tumors by surgical stress of laparotomy vs. CO2 pneumoperitoneum: an animal experiment.	白石憲男	外科第一
Journal of Surgical Research (21年5月発行)	Clinical Impact of Segmentectomy Compared with Lobectomy Under Complete Video-Assisted Thoracic Surgery in the Treatment of Stage I Non-Small Cell Lung Cancer.	山下眞一	外科第二
Anticancer Research (21年7月発行)	DYRK2 expression may be a predictive marker for chemotherapy in non-small cell lung cancer.	山下眞一	外科第二
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery (21年12月発行)	Expression of dual-specificity tyrosine-(Y)-phosphorylation-regulated kinase 2 (DYRK2) can be a favorable prognostic marker in pulmonary adenocarcinoma.	山下眞一	外科第二
European Journal of Cardio-thoracic Surgery (22年2月発行)	Survivin expression in oesophageal squamous cell carcinoma: its prognostic impact and splice variant expression.	武野慎祐	外科第二
Acta Neurochir (Wien). 151(10): 1337-38 (21年10月発行)	Surgical technique for anterior skull base reconstruction using hydroxyapatite cement and titanium mesh.	阿部竜也	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien). 151(7): 855-9, 2009 Jul 7 (21年7月発行)	The association between high VEGF levels and multiple probable punctuate cavernous malformations.	阿部竜也	脳神経外科
Neurosci Lett. 2009 Sep 25;461(3):298-301. (21年9月発行)	Edaravone, a free radical scavenger, retards the development of amygdala kindling in rats. Kamida T, Abe E, Abe T, Ooba H, Fujiki M, Kobayashi H.	上田 徹	脳神経外科
J Clin Neurosci. 2009 16:1358-60. Jun 27. (21年10月発行)	Intracranial infiltration by recurrent scalp dermatofibrosarcoma protuberans.	阿部竜也	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg. 2009 111:779-83. (21年11月発行)	Functional motor recovery of an infant after a huge ependymoma resection.	阿部竜也	脳神経外科
J Clin Neurosci. 2009 16: 158-60 (21年12月発行)	Malignant fibrous histiocytosis after high-dose proton radiation therapy for anaplastic astrocytoma.	大場 寛	脳神経外科
J Clin Neurosci. 2009 16:1301-6 (21年12月発行)	A hemispherotomy for intractable startle epilepsy characterized by infantile hemiplegia and drop attacks.	阿南光洋	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2009 49: 447-8. Oct 10 (21年10月発行)	Aberrant right subclavian artery with left carotid-basilar common trunk.	石井圭亮	脳神経外科
Spine (Phila Pa 1976) (21年11月発行)	Lumbar segmental mobility according to the grade of the disc, the facet joint, the muscle, and the ligament pathology by using kinetic magnetic resonance imaging.	宮崎正志	整形外科
Spine (Phila Pa 1976) (21年11月発行)	Dynamic bulging of intervertebral discs in the degenerative lumbar spine	宮崎正志	整形外科
J Orthop Res (22年2月発行)	Enhanced effects of BMP-binding peptide combined with recombinant human BMP-2 on the healing of a rodent segmental femoral defect.	宮崎正志	整形外科
Microsurg. 29(4) (21年4月発行)	assessment of the posterior calf region as donor site for a free fasciocutaneous flap.	清水史明	皮膚科
J Dermatol (21年7月発行)	Successful treatment of single lymph node metastasis of melanoma with carbon ion radiotherapy and chemotherapy	甲斐宜貴	皮膚科
日本シミュレーション外科学会誌, 17(3) (21年9月発行)	画像3次元化ソフトを用いた半側顔面萎縮症の治療.	清水史明	皮膚科
Neurourology Urodynamics (22年3月発行)	The effects of hepatocyte growth factor and insulin-like growth factor-1 on the myogenic differentiation of satellite cells in human urethral rhabdosphincter.	住野泰弘	腎臓外科・泌尿器科
British Journal of Ophthalmology (21年4月発行)	Trabecular meshwork in neovascular glaucoma eyes after the intravitreal injection of bevacizumab	久保田敏昭	眼科
Ophthalmologica (21年10月発行)	Photopic Negative Response Reflects Severity of Ocular Circulatory Damage after Central Retinal Artery Occlusion	松本惣一セルソ	眼科
Journal of Ophthalmology (21年10月発行)	Optical Coherence Tomographic Evaluation of The Outer Retinal Architecture in Oguchi Disease	山田喜三郎	眼科
Acta Ophthalmologica (21年12月発行)	Frosted branch angiitis associated with streptococcal infection:optical coherence tomography as a follow-up tool	河野博文	眼科
Retina (22年3月発行)	Histology of fibrovascular membranes of proliferative diabetic retinopathy after the intravitreal injection of bevacizumab	久保田敏昭	眼科
Investigative Ophthalmology&Visual Science (22年1月発行)	Analysis of p53 mutations and the expression of p53 and p21WAF1/CIP1 protein in 15 cases of sebaceous carcinoma of the eyelid	清崎邦洋	眼科
耳鼻咽喉科臨床 (21年4月発行)	滲出性中耳炎とアレルギー 再検証, 102, 243-248., 2009	鈴木正志	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 (21年5月発行)	視力障害を来し不幸な転帰をたどった蝶形骨洞真菌症の1例, 27(1), 93-98, 2009	平野 隆	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会専門医通信 (21年5月発行)	扁桃周囲膿瘍・深頸部膿瘍への対応, 第99号, 10-11, 2009	鈴木正志	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 (21年6月発行)	咽喉頭異常感症に対するFスケール問診票と咽喉頭異常感スコアの検討, 102(6), 465-471, 2009	渡辺哲生	耳鼻咽喉科
口腔・咽喉科学会 (21年6月発行)	耳下腺腫瘍と診断された第1膵裂囊胞および瘻孔症例の2例, 22(2), 183-189, 2009	平野 隆	耳鼻咽喉科
日本鼻科学会誌 (21年8月発行)	耳鼻咽喉科医によるOpen Septorhinoplasty症例 -鼻閉と整容の改善を目的として, 48(2), 117-122, 2009	児玉 悟	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 (21年8月発行)	複数の粘膜炎血斑を伴った吸血性ヒルによる鼻出血例, 102(8), 635-638, 2009	鈴木正志	耳鼻咽喉科
International J. of Pediatric Otorhinolaryngology, (21年9月発行)	The role of Toll like receptor 4 in eliciting acquired immune responses against nontypeable Haemophilus influenzae following intranasal immunization with outer membrane protein, 73, 1657-1665, 2009	平野 隆	耳鼻咽喉科
Otitis Media 2009 (21年11月発行)	Efficacy of toll-like receptor (TLR) 9 in the middle ear protective immunity, 41-43, 2009	児玉 悟	耳鼻咽喉科

Neurosurgery (21年12月発行)	Endoscopic transnasal resection of ectopic esthesioneuroblastoma in the pterygopalatine fossa: Technical case report, 85, onsE 112-113, 2009	児玉 悟	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica, (21年12月発行)	Prognostic impact of phosphorylcholine expression in nontypeable Haemophilus influenzae in otitis media with effusion, 129, 832-838, 2009	藤田 佳吾	耳鼻咽喉科
Vaccine (22年1月発行)	A single nasal dose of fms-like tyrosine kinase receptor-3 ligand, but not peritoneal application, enhances nontypeable Haemophilus influenzae-specific long-term mucosal immune responses in the nasopharynx, 28, 2510-2516, 2010	児玉 悟	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx (22年2月発行)	A rare case of cholesterol granuloma in the thyroid without an abnormality of lipid metabolism, 37, 134-136, 2010	野田加奈子	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会 (22年2月発行)	上顎洞病変に対するEndoscopic medial maxillectomy 一症例の検討と適応について 113, 53-61, 2010	児玉 悟	耳鼻咽喉科
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism (21年7月発行)	Decidualization attenuates the contractility of human eutopic and ectopic endometrial stromal cells: implications for hormone therapy of endometriosis	津野晃寿	産科婦人科
Fertility and Sterility (21年12月発行)	Simvastatin inhibits the proliferation and the contractility of human endometriotic stromal cells: a promising agent for the treatment of endometriosis	奈須家栄	産科婦人科
Cancer Letter (21年5月発行)	Targeting calcium/calmodulin-dependence kinase I and II as a potential anti-proliferation remedy for endometrial carcinomas.	高井教行	産科婦人科
International Journal of Molecular Medicine (22年1月発行)	PK11195 enhances chemosensitivity to cisplatin and paclitaxel in human endometrial and ovarian cancer cells	高井教行	産科婦人科
Archives of Gynecology and Obstetrics (22年2月発行)	Conservative surgical treatment for early-stage vulvar malignant melanoma	奈須家栄	産科婦人科
European Radiology (21年4月発行)	Clinical and pulmonary thin-section CT findings in acute klebsiella pneumoniae pneumonia	岡田 文人	放射線科
Abdominal Imaging (21年11月発行)	Garcinoid tumors of the pancreas: dynamic CT and MRI features with pathological correlation	高司 亮	放射線科
Shock 31(5):515-20, 2009. (21年5月発行)	Landiolol, an ultra short-acting beta-1 adrenoreceptor antagonist, has protective effects in LPS-induced systemic inflammation model.	萩原 聡	麻酔科
Inflamm Res.58 (4):198-203, 2009. (21年4月発行)	A neutrophil elastase inhibitor (Sivelestat) reduces the levels of inflammatory mediators by inhibiting NF-κB.	萩原 聡	麻酔科
J Anesth 23 (2):288-91, 2009. (21年4月発行)	Siverstat treatment for acute respiratory syndroms in an infant.	松本重清	麻酔科
麻酔58(5): 749-752, 2009. (21年5月発行)	動脈圧心拍出量測定FloTracTM センサーを使用した超高齢患者緊急手術の全身麻酔.	山本俊介	麻酔科
Crit Care Med37 (7):2223-2227, 2009. (21年7月発行)	Hyperglycemia contributes to cardiac dysfunction in an LPS-induced systemic inflammation model.	萩原 聡	麻酔科
Intensive Care Med35 (8):1471-1478, 2009. (21年8月発行)	Antagonist of Type-1 ANG II receptor prevents against LPS-induced septic shock in rats.	萩原 聡	麻酔科
Journal of Anesthesia 23 (3): 474-475, 2009. (21年6月発行)	A case of perineal pain related interstitial cystitis which was supposed to be relieved with gabapentin.	高谷純司	麻酔科
Pancrease 38(7):746-751, 2009. (21年9月発行)	Antithrombin III prevents cerulein-induced acute pancreatitis in rats.	萩原 聡	麻酔科
Journal of Anesthesia 23(4): 594-596, 2009 (21年4月発行)	Anesthetic management of a patient with hyperthyroidisms due to hydatidiform mole.	松本重清	麻酔科
Surgery Today 40(2):137-145, 2010. (22年2月発行)	Dendritic cell activation in response to ischemia-reperfusion injury of the small intestine.	萩原 聡	麻酔科
Yakugak Zasshi 130(1):87-94, 2010. (22年1月発行)	Dripemem pharmacokinetics in critically ill patients receiving continuous hemodiafiltration.	日高正剛	麻酔科
Journal of Anesthesia 24(1):11-6,2010 (22年2月発行)	The effects of landiolol on cerebral blood flow in patients undergoing off-pump coronary artery.	後藤浩治	麻酔科
Journal of Anesthesia 24(1):107-109,2010 (22年1月発行)	conversion of atrial flutter to sinus rhythm during randiolol infusion.	山本俊介	麻酔科
Shock33(3):282-288, 2010. (22年3月発行)	In vivo and in vitro effects of the anticoagulant, thrombomodulin, on the inflammatory response in rodent models.	萩原 聡	麻酔科
麻酔と蘇生 45(4):81-84,2010 (21年12月発行)	セボフルラン麻酔中に悪性高熱症を発症した患者に対してレミフェンタニル/プロポフォール麻酔を施行した一症例	長谷川理恵	麻酔科
International journal of Hyperthermia 25(8): 626-633, 2009.(21年8月発行)	Heat shock protein 72 protects insulin-secreting beta cell from lipopolysaccharide-induced endoplasmic reticulum stress.	萩原 聡	麻酔科
Journal of Cardiovascular Electrophysiology (21年6月発行)	Gender differences in the effect of auditory stimuli on ventricular repolarization in healthy subjects	中川幹子	検査部
International Journal of Hyperthermia (21年12月発行)	Induction of heat shock proteins prevents the arrhythmogenic substrate for atrial fibrillation	高橋尚彦	検査部
Apoptosis (22年2月発行)	Mitochondrial KATP channels-derived reactive oxygen species activate pro-survival pathway in pravastatin-induced cardioprotection Thuc Luong Cong,	手嶋泰之	検査部
JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL PHARMACOLOGY AND THERAPEUTICS (22年1月発行)	Effect of renal impairment on the pharmacokinetics of disopyramide and its metabolite and serum insulin level: a single dose study	小手川勤	臨床薬理
Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology (22年3月発行)	Pharmacokinetics and pharmacodynamics of low doses of midazolam administered intravenously and orally to healthy volunteers	今井浩光	臨床薬理
Antimicrob Agents Chemother (21年7月発行)	Sitafloxacin activity against Helicobacter pylori including isolates with gyrA mutations,	村上和成	総合診療部
J Gastroenterol (21年7月発行)	Evaluation of Helicobacter pylori status and endoscopic findings among new outpatients with dyspepsia in Japan	塩田星児	総合診療部

BMC Microbiol. (21年7月発行)	Analysis of virulence factors of Helicobacter pylori isolated from a Vietnamese population.	高山明子	総合診療部
Helicobacter (21年10月発行)	Evaluation of a new tumor necrosis factor- $\alpha$ -inducing membrane protein of Helicobacter pylori as a prophylactic vaccine antigen.	塩田星児	総合診療部
Clin Vaccine Immunol. (21年9月発行)	Evaluation of the anti-East Asian CagA-specific antibody for CagA phenotyping.	黒田明子	総合診療部
J Gastroenterol Hepatol (21年10月発行)	Evaluation of esophageal function in patients with gastroesophageal reflux disease using transnasal endoscopy.	村上和成	総合診療部
Clin Microbiol Infect (21年10月発行)	Helicobacter pylori dupA gene is not associated with clinical outcomes in the Japanese population.	黒田明子	総合診療部
Intern Med (21年11月発行)	Pancreatic injury successfully treated with endoscopic stenting for major pancreatic duct disruption.	村上和成	総合診療部
J Pathol (22年1月発行)	Genomic profiling of gastric carcinoma in situ and adenomas by array-based comparative genomic hybridization.	黒田明子	総合診療部
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology (21年11月発行)	Human herpesvirus-6 in hematological malignancies	緒方正男	輸血部
臨床血液 (22年2月発行)	再発・治療抵抗性多発性骨髄腫に対するサリドマイド療法の後方視的検討	緒方正男	輸血部
Journal of Traditional Medicines (21年5月発行)	Effects of bakumondoto on neuropeptide levels in human saliva and plasma	佐藤雄一	薬剤部
oncology (21年12月発行)	Relationships of insulin-like growth factor-1 receptor and epidermal growth factor receptor expression to clinical outcomes in patients with colorectal cancer	白尾國昭	腫瘍内科
International journal of clinical oncology (21年5月発行)	Phase 2 Clinical Trial of Panitumumab Monotherapy in Japanese Patients with Metastatic Colorectal Cancer.	白尾國昭	腫瘍内科
International journal of clinical oncology (21年4月発行)	Sunitinib-resistant gastrointestinal stromal tumors harbor cis-mutations in the activation loop of the KIT gene.	白尾國昭	腫瘍内科
Cancer chemotherapy and pharmacology. (21年8月発行)	A phase I escalating single-dose and weekly fixed-dose study of cetuximab pharmacokinetics in Japanese patients with solid tumors.	白尾國昭	腫瘍内科
Japanese journal of clinical oncology (21年6月発行)	Vascular Endothelial Growth Factor Receptor Expression as a Prognostic Marker for Survival in Colorectal Cancer.	白尾國昭	腫瘍内科
International journal of clinical oncology (21年9月発行)	Safety and pharmacokinetics of panitumumab in Japanese patients with advanced solid tumors.	白尾國昭	腫瘍内科
Investigational new drugs (21年9月発行)	Phase I/II study of sunitinib mesylate in Japanese patients with gastrointestinal stromal tumor after failure of prior treatment with imatinib mesylate.	白尾國昭	腫瘍内科
Journal of cancer research and clinical oncology (21年9月発行)	Sequential chemotherapy with methotrexate and 5-fluorouracil for chemotherapy-naive advanced gastric cancer with disseminated intravascular coagulation at initial diagnosis.	白尾國昭	腫瘍内科
Cancer chemotherapy and pharmacology (21年9月発行)	Additive effects of drug transporter genetic polymorphisms on irinotecan pharmacokinetics/pharmacodynamics in Japanese cancer patients.	白尾國昭	腫瘍内科
The lancet oncology. (21年10月発行)	Fluorouracil versus combination of irinotecan plus cisplatin versus S-1 in metastatic gastric cancer: a randomised phase 3 study.	白尾國昭	腫瘍内科
Nihon Naika Gakkai zasshi. (21年8月発行)	Standard chemotherapy of solid tumors. 2) Cancers of the digestive system	白尾國昭	腫瘍内科
Investigational new drugs (21年8月発行)	Phase I clinical and pharmacokinetic study of sorafenib in combination with carboplatin and paclitaxel in patients with advanced non-small cell lung cancer	森永亮太郎	腫瘍内科
Clinical cancer research (21年6月発行)	Phase I study of YM155, a novel survivin suppressant, in patients with advanced solid tumors	森永亮太郎	腫瘍内科
日本内科学会雑誌 (21年8月発行)	腫瘍内科の現状と展開 I. がん薬物療法の展開 4. 固形がんの標準的薬物療法 2) 消化器癌. 第98巻 第8号 21年8月	白尾國昭	腫瘍内科
日本病院薬剤師会雑誌 (22年3月発行)	がん化学療法におけるレジメン登録制の構築とレジメンオーダシステム導入の評価	大津 智	腫瘍内科

計 163

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 古 林 秀 則					
管理担当者氏名	総務課長	砂 山 富 恵	医事課長	三 浦 進 治		
	薬剤部長	武 山 正 治	放射線部長	森 宣		
	医療安全管理部長	鈴 木 正 志	研究協力課長	弓 削 純 一		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌		各診療科	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式で、コンピューターによる集中管理を行っている。 また、エックス線写真は、放射線部において一患者一ファイルで管理を行っており、共に永久保存を原則としている。
処方せん		薬剤部	
手術記録、看護記録、検査所見記録		医事課	
エックス線写真		放射線部	
紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課 総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
	第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 (医療安全管理部)	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 (感染制御部)
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会		
		保守点検に関する書類は装置ごと、他は年度ごとにファイルしている。 また、院内の各端末からアクセスできる医療機器安全管理システムを用いて各情報の登録・閲覧・周知の院内統一管理を可能としている。	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学・病院事務部長
閲覧担当者氏名	総務課長
閲覧の求めに応じる場所	管理棟第 2 会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.1%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		7,833人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,539人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,165人
	D: 初診の患者の数		15,012人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。





## 規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>指針の主な内容：医療安全管理に関する基本的考え方，医療安全管理に係る体制確保のための組織等，医療安全管理に係る職員の教育・研修，医療事故発生時の対応，医療事故等の報告及び改善策の立案，当該指針の閲覧，患者相談に関する方針等</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 7 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の主な内容：医療安全管理指針及び医療安全管理マニュアルの策定及び見直し，医療事故の判定，医療安全管理に関する改善策，医療安全管理のための職員研修，医事紛争，その他医療安全管理上の重要事項の審議</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容：転倒転落とリハビリテーション，医薬品の適正使用，医療メデイエーションの考え方，新インシデントレポートシステムの活用方法</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： 事故報告については，調査・分析を行い，改善策の立案を行っている。全体で共有すべき事例や決定した安全対策については，毎月リスクマネージャー連絡会を開催し，リスクマネージャーを通して全体への周知を図っている。 定期的に院内ラウンドを実施し，安全情報等の周知状況や安全確認手順の実施検証を行っている。</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2 名 ) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ( 1 名 ) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>所属職員：専任 ( 2 ) 名 兼任 ( 1 5 ) 名</li> <li>活動の主な内容：メディカル・リスクマネジメント委員会が有効に機能するよう具体的な提案事項等の作成，その他委員会の庶務 インシデント報告を分析し，その結果を委員会に報告すること及び現場へのフィードバック 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認と必要な指導 事故等について，患者や家族への説明などその発生時の対応状況について確認と必要な指導 事故等について，その原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導 医療内容についての相談等，医療安全に係る連絡調整，医療安全管理に関する職員研修の企画・運営，医療安全対策の推進</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>指針の主な内容：院内感染に対する基本的考え方，院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本的事項，院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本的方針，感染症の発生状況の報告に関する基本方針，院内感染発生時の対応に関する基本方針，患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針，その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の主な内容：感染予防対策の確立，感染予防の実施，監視及び指導，感染源の調査，感染予防対策に関する情報の収集等</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容：新型インフルエンザ対応について，          新型インフルエンザ対応 ～第 1 波を迎えて～，          またやってきたノロウイルス ～アウトブレイクはもう嫌！～，          感染情報システムについて</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容：院内の菌検出状況や感染症患者の状況を電子カルテシステム内の感染制御システムで管理している。主要な感染菌の検出状況や感染者情報については毎月報告を行っている。          抗菌薬の使用状況やTDMについても定期的に報告を行っており，注意を要する抗菌薬については届出制とし，感染制御部の介入を図っている。          感染制御部及びリンクナースによる院内ラウンドを定期的に行い，標準予防策や感染対策の実施状況の確認，指導を行っている。          また，各種感染症サーベイランスも行っており，定期的に報告を行っている。          マニュアル変更や院内感染対策の重要情報については，病院運営委員会及び病院連絡会を通して周知を図るとともに，感染制御部ニュースを発刊し院内各部署へメール配信している。</li> </ul>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回 (ビデオセミナーを含む)
・ 研修の主な内容： 医薬品の適正使用 ～最近のインシデント事例から～	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ 業務の主な内容：平成 22 年 7 月に実施し、確認内容を保管記録している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 得られた情報のうち必要なものについては医薬品を取り扱う職員に対して周知する。 D I ニュース (月 1 回発行)，薬剤部便り (月 1 回発行)，その他必要に応じて通知文書として配布	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年38回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：人工呼吸器勉強会，AED 勉強会，除細動器勉強会，人工心肺装置勉強会，透析装置勉強会，輸液・シリンジポンプ勉強会，IABP 勉強会，PCPS 勉強会，超音波診断装置勉強会，保育器勉強会、看護部 ME 研修、研修医オリエンテーション、臨床工学技士向け保守点検講習会</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li><li>保守点検の主な内容：生命維持管理装置である人工心肺装置，補助循環装置，人工呼吸器，除細動器，血液浄化装置，保育器と輸液ポンプ等の点検スケジュールの策定，実施は臨床工学技士が行っている。 また，放射線機器については，放射線技師が実施している。 (始業・終業点検，安全・動作確認等日常点検，出力測定，漏洩線量測定など)</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器安全管理システムを用いた添付文書及び安全情報の管理，安全管理セミナー（医療機器）での周知，臨床工学技士の各種研修会・講習会への参加や報告</li></ul>	